

小田協議会便り



2025年8月17日
小田東部八坂神社

秋号の目次

十九夜様 小田の3つの万灯

お不動様 平安時代の磨崖仏

天神様 参道に立ち並ぶ万灯

ホームページ



<https://odasho.org>

十九夜様 蘇った小田の3つの万灯

つくば市小田には元々「3つの万灯」がありました。小田東部の十九夜万灯、中部のお不動様万灯、西部の天神様万灯です。そのうち、十九夜万灯は30年ほど前に絶えてしまっていました。これが八坂神社お囃子保存会の方々により、昨年囃子込みが復活、今年2025年には盆踊りも復活を遂げました。

盆踊りの演奏は、古くから小田に伝わるもの。子どもたちは始めに30分ほど教えてもらって、もう自分で叩いていました。

夜が更けるにつれ輪に加わる方も増え、子どもたちの演奏の周りで大人たちが楽しそうに踊っていました。

「これが小田の宝なんだ。」と保存会の最古参。復活した十九夜様は今年も盛況のうち、恒例の参睡一据(さんぼく いっせい)で締められました。

ご連絡・お問合せ

住所：つくば市小田3107 旧小田小学校校舎内

電話番号：029-844-9493

メールアドレス：contact@odasho.org

校庭はどなたでも、ご自由に利用できます。(駐車目的,専有を除く)
以下の区会にご所属の方は、無料で教室などもお使い頂けます。
区会長の確認を経て、ご予約ください。

小田東部,中部,西部,大形,小和田,北太田,下大島
小田協議会に入会すると、施設を専有して使うことができます。
詳しくはホームページ(本紙面左側のQRコード)をご参照ください。



お不動様 平安時代の磨崖仏

宝篋山の中腹に鎮座するお不動様には、「磨崖不動明王立像」が祀られています。これはつくば市指定彫刻、12世紀前半の作とされるもの。山肌に露出する巨岩に彫られています。この日は普段下ろされている御簾が外され、そのお姿が拝めました。

日暮れ頃、参道入口で参切太鼓が始まりました。特別なお囃子を奏でながら、万灯が並ぶ参道を山中に入っていきます。これらの万灯は、小田の子どもたちが絵を描いたものと伺いました。

最後の階段の下まで着くと、散切太鼓が終わりを告げ、お社の前でお神酒を酌み交わしました。現在に至るまで絶えることがなかったといわれるお不動様万灯が、今年も無事引き継がれました。

天神様 参道に立ち並ぶ万灯

天神様の山車が引かれる小田西部の大通りは、大きな古民家や寺社が連なる、美しい道です。参道沿いには、子どもたちが絵付けした箱型の万灯と、地元の方が製作した竹の万灯が1,2mおきに並べられていました。

参切太鼓を皮切りに、子どもたちがお囃子を載せた山車を引き、大通りを練り歩きます。終わるころにはもうすっかり日が落ち、辺りは万灯の幻想的な光と影に彩られていました。

ここで改めて大通りの入口で、参切太鼓が披露されると、大人たちのお囃子が参道を進みます。そして最後に天神様の拝殿の前で、散切太鼓を奉納しました。厳かで肅々としたお囃子に、自然に拍手が沸き起こり祭りが締められました。



編集後記

「小田には3つの万灯がある」と知ったのは、はずかしながら小田地区の取材歴2年目の今年になってからでした。でも実際に取材してみると、地元の方が地元のために、忙しい生活の合間を縫って活動をしている姿が見られました。そして世代を超えて廃れるどころか、伝統行事の復活までさせているみなさまのエネルギーに、圧倒されるばかりでした。小田祇園祭やどんど焼きとは一味ちがい、これらの祭りは小田の方々がかつないできた素の温もりを感じ、幸せな気持ちになれます。読者にそんな雰囲気が少しでも伝わればいいな、と思いながら、記事を書きました。